

沼津市長杯 富士山ヨットレース 帆走指示書

2018年8月26日

レース委員長 小松 一憲

レース委員 竹島 正則 / 実行委員 梅原 敬一

- ① 適用規則：本レースはJSAF競技規則（2017-2020）を適用する。
但し、「第7章91プロテスト委員会（a）（b）」を除く
 - ② 修正時間システム：
ヤマハマリーナ沼津クラブレーティングで修正した時間が小なるものを上位とする。
 - ③ 競技者は、港内・外に故意にごみを水中に投棄してはならない。
 - ④ ライフジャケット着用のこと。
2. 出場資格
- ① 富士山が見守る海をフィールドとするヨットを愛する方。
 - ② 艇長を含む乗員の数は小型船舶安全規則に定める最大搭載人員（定員）を超えてはならない。
 - ③ ヨット保険（第三者賠償責任保険を含む）に加入していること。
 - ④ 有効な小型船舶検査証書を有している艇であること。
 - ⑤ 反社会的勢力でないこと。
3. クラス分け
- 大枠 レーシングクラスとハピネスクラス（スピン無し）とする。
本大会はレーシングクラスを（富士山クラス）と（宝永山クラス）に分けるものとする。
ハピネスクラスを（沼津アルプスクラス）とシングルハンド・ダブルハンド・オートパイロット可の（淡島クラス）の各2クラスに分けるものとする。
(クラス別はレース委員会が決定する。)
- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| また全艇にポータブルセールナンバーを右舷側前方ライフラインに | |
| レーシングクラス | 富士山クラス
宝永山クラス |
| ハピネスクラス（スピン無し） | 沼津アルプスクラス（オレンジ）
淡島クラス（グリーン） |
- のミニフラッグをバックステアに掲揚するものとする。
4. 受付および艇長会議 2018/8/26（日）
- 出艇受付 当日、海上受付とする（ポータブルセールナンバーが本部船に見える様にスタートラインを横切って受付とする）
- 事前レース説明 原則として8月24日までの土、日曜日（10時～18時で随時ヤマハマリーナ沼津で説明と同時にポータブルセールナンバーの引渡しを行います）
・・・遠方のレース参加艇については別途対応いたします。
- 出場艇海上パレード 9：15～（30FT以下の一部のレース参加艇）
- 競技 10：15～12：45 （タイムリミット 150分）
- 表彰式&パーティ 13：45～15：30 場所 INO 2 階（トニーズホノルル）

5. スタート及びコース説明
艇長会議にて発表

レーシングクラスのコース&ハピネスクラスのコース

レーシングクラス

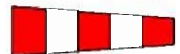
スタート（牛臥山沖）⇒ **江梨沖 NO.1マークブイ（反時計廻り）** ⇒ 千本浜ブイ フィニッシュ

ハピネスクラス

スタート（牛臥山沖）⇒ **西浦沖 NO.2マークブイ（反時計廻り）** ⇒ 千本浜ブイ フィニッシュ
（JAなんすん西浦選果場）

- ※ 獅子浜ブイとは静浦沖にある浮防波堤で、内側の航行を禁止とする。
- ※ 千本浜フィニッシュマークとは沼津港北堤防ブイの北西端のブイとする。

- ① スタート信号後でもコミッティーは下記のいずれかの理由により、レースを中止（音響信号3声と共にN旗を掲揚）することがある。
 - A) 悪天候（大幅な風向の変化を含む）
 - B) どの艇もタイムリミット内にフィニッシュできそうもない不十分な風。
 - C) 競技の安全または公正に直接影響するその他の理由。
- ② スタート延期の場合延期信号を掲揚する事がある、降下1分後に新しいスタート5分前とする。



6. スタート スタート時刻 8月26日 **ハピネスクラス 10:15** スタート
レーシングクラス 10:30 スタートとする。

- ① スタート信号
スタート5分前： クラス旗※1（予告信号）を掲揚し音響信号1声を発する。
※1 クラス旗は ハピネスクラスが**緑色**の単色旗とし同時スタート
レーシングクラスも**黄色**の単色旗とし同時スタートとする。



// 4分前：P旗（準備信号）を掲揚し音響信号1声を発する。

// 1分前：P旗を降下して、音響信号長音1声を発する。

スタート：クラス旗を降下して音響信号1声を発する。

*計時は**信号旗を優先**し音響信号の不発は無視するものとする。



- ② スタートラインおよびフィニッシュラインは、海上のレースコミッティー（本部船）の掲げる「**赤色の単色旗**」&「**白と赤色のYAMAHA旗**」とリミットブイとを結ぶ線とする。
- ③ 本部船を右に見てスタート及びフィニッシュは本部船を左に見てフィニッシュするものとする。
- ④ スタートラインはスタート10分後に消滅する。



7. リコール

- ① インディビジュアルリコールの場合は音響信号1声と共にX旗を掲揚する。
X旗は全てのリコール艇がリコールを解消した時点で降下する。
但し、これに係わらずスタート10分後には降下する。
- ② ゼネラルリコールの場合は音響信号2声と共に第1代表旗を掲揚する。
新しいスタートのコース旗（予告信号）は第1代表旗降下（音響信号1声）の1分後に掲揚する。



8. コースの短縮

① 天候上時間内にレース艇がフィニッシュ出来ない場合、各クラス共次の第一マークでフィニッシュとする、その場合は本部船又はマークボートを右に見てフィニッシュとし又、新しいフィニッシュラインになる本部船及びマークボートには**S旗**と**青旗**を掲揚する。



② コース短縮の場合は本部船とマークボートより音響信号2声と共にS旗を掲揚する。



9. タイムリミット

両クラス12:45とする(150分)

10. レース艇の義務

- ① 出艇申し、スタートしていない艇は速やかにその旨をコミッティーに報告する。
- ② [リタイア] リタイアした艇は速やかに**海上マーク船に報告する。TEL 090-4850-2630 竹島 迄**
- ③ [事故報告] レース中に事故があった艇は、速やかにコミッティーに文書にて報告する。

11. 規則違反&救済

- ① レース中にJ S A F 競技規則第2章の規則に違反したかもしれない艇は、ケースの後出来るだけ早く他の艇から十分離れた後、速やかに2回のタックと2回のジャイブを含む同一方向への2回転を行うことにより「2回転ペナルティー」を履行した事とする。
- ② レース中にマークと接触(規則3 1. 1に違反)した艇は出来るだけ早く他の艇から十分離れた後に、速やかに1回のタックと1回のジャイブを含む1回転を行うことによりペナルティーを履行した事とする。
- ③ その他、レース規則に違反した艇は失格または30%以上のタイムペナルティーを課すことがある。
- ④

12. その他

- ① コミッティーは海上で「**赤色の単色旗**」「**白と赤色のYAMAHA旗**」を掲揚している。
- ② マークボートは海上で「**白と赤色のYAMAHA旗**」を掲揚している。
- ③ N旗が掲揚された場合は「スタートした全てのレースを中止する。スタートエリアに戻れ、予告信号はN旗降下後1分後に発する。但し、その1分以内にレースを再度中止又は延期した場合を除く」である。
- ④ リミットマーク周辺にマークボートが配置されている。



海上マーク船	連絡先	竹島	090-4850-2630
陸上本部	連絡先事務局	ヤマハマリーナ沼津	055-939-0311
実行委員会	連絡先	飯島	090-3459-5450

参考（画像）

本部船



マークボート



NO. 1マークブイ（レーサークラス）



NO. 2マークブイ (ハピネスクラス)



スタートリミットブイ

